

読者の皆さんから届いたお便りなどを紹介します

町内総出の大イベント、西村の夏祭りが7月21日に開催されました。

夕方になり、総社音頭が流れてくると、子ども連れを中心にだんだんごにぎやかになってきます。「さあ盆踊りが始まるよ」のかけ声に合わせて、浴衣姿の踊り子に混じり、婦人会、子供会、男性連などがやぐらを囲んで、にこやかに調子よく踊ります。その後は、お楽しみ抽選会。毎年楽しみにしている人が多く、住民のほとんどが顔を見せられます。当選番号の発表を待つ心はワクワク、ドキド



浴衣を着て楽しく踊る参加者

キです。当たった人も外れてしまった人も、その明暗を心に秘め、また来年の夏を楽しみにして帰路に着きます。

夏祭りはやっぱり盆踊り。みんなで踊ることが楽しく、そのなかに浴衣姿があるといっそう雰囲気盛り上がりです。今年の祭りは例年にも増して良かったと思います。(河本明子さん・井尻野)



楽しいひと時を過ごした子どもたち

新 湯原十日町市の中条小学校から6年生31人が7月28日から3日間、山手にやってきました。

南北朝時代の合戦が縁で始まった交流事業で今年が16回目。文化、風土の異なる地に家族ができる素敵な交流です。中条小学校の子どもたちは、山手小学校の6年生の各家庭にホームステイをします。わが家にもかわいい娘が2人増えま

した。最初は緊張気味でしたがすぐに打ち解け、話出すと止まりません。学校友達、家族、好きなスポーツや趣味の話など、旅の疲れも忘れて夜遅くまでおしゃべりしていました。二日目にはバーベキューや花火を、ほかの友達も呼んでいっしょに食べて笑って、すっかり家族のようでした。別れの朝は「また帰っておいでね」と声をかけ、見送りました。

2月には、山手小学校の6年生が十日町市におじゃまします。手紙などで交流を続けながら、再会を楽しみにして友情を育むことでしょう。(小川千代子さん・西坂台)

今月の表紙

ロンドンオリンピックで活躍する清水聡選手(写真提供:自衛隊体育学校)

編集後記

■部屋の中は快適だが、外に出れば猛暑。2か月先の原稿を作りながら、温度差と日付のギャップに夏ボケしている。
■まだ暑い日が続くが、秋にはスポーツ祭もある。体を動かす機会をつくりたい。
■いつまでこの暑さが続くのだろう。取材で外に出るたび考える。でも粘り強く、良い写真が撮れるまでがんばるぞ。
■連日、ロンドンオリンピックをテレビ観戦してしまい寝不足。スポーツしている人の汗はキラキラきれいだ。

チェッピーのジグソーパズルが当たる

広報クイズ

今月の『広報そうじゃ』を読んで、次のクイズにお答えください。

Q 小・中学校で取り組んでいるのは「○○○○○○○○○○学校づくり」
【応募方法】 はがきに答えと住所、氏名、電話番号、市政や広報紙に対するご意見やご要望を明記のうえ、編集室へ。正解者のなかから2人にチェッピーのジグソーパズルを贈ります。

【応募期限】 10月1日(月)
【7月号の答え】 4
【7月号の当選者】 松永スマ子さん(中央六丁目)、内田虎太郎さん(井尻野) [応募者数12人]

■応募先 〒719-1192 中央一丁目1番1号 総社市役所企画課

市民憲章

わたくしたちは、美しい自然と豊かな吉備文化にはぐくまれている総社市民です。

このことに誇りと責任をもち明るく豊かなまちをつくることにつとめます。

- 1 郷土を大切に
美しい環境をまもりましょう。
- 1 生涯学び
明るい家庭をきずきましよう。
- 1 たがいに助け合い
あたたかいまちをつくりましよう。

市の花・木・鳥

- ◎市の花/れんげ
- ◎市の木/もみじ
- ◎市の鳥/タンチョウ



現代に残る里山への想い

心の原風景を守る北の吉備路保全協会

環境大臣賞を受賞

北の吉備路に残る豊かな里山環境。人の営みと密接な関わりをもちながら作り出されたこの環境を、北の吉備路保全協会は保全し、後世に伝えていく活動をしています。

平成12年に設立した北の吉備路保全協会の活動は、炭焼きやソバ畑といった里山風景の保全や、啓発を目的としたヒイゴ池湿地の維持管理、北の吉備路写真展、市主催の自然学校やナチュラルウォークへの講師派遣など多岐にわたります。今年6月、長年続けてきたその功績が認められ、地域環境保全功労者として環境大臣賞を受賞しました。

同協会の活動の主眼は、北の吉備路の環境を保全し、多くの人と分かち合いながら後

世に引き継いでいくこと。実際に生活している地域の人のための活動を、地元の人たちと連携し、科学的根拠に基づき幅広い調査研究や提言ができることも強みの一つです。

北の吉備路には豊かな自然と共に生きてきた人々の生活があります。それが日本人の心の原風景「里山」です。同協会の宮本邦男会長は、「明治初期にはげ山と化していた北の吉備路を、宇野田三郎さんら先人が現在の緑豊かな状態に復活させた。これからも調査に基づくデータを積み重ね、受け継いできた緑を守り続けていきます」と話します。



ナチュラルウォークで北の吉備路を散策



子どもに自然の大切さを教える自然学校



長年守り続けている里山風景のソバ畑